

■宣言者：地域整備部長 松本和久

部の使命・方針

農業に関し、農業施設等既存資源の維持・保全に努めるとともに、地域資源を効果的に活かせる取組や農地の集積、担い手確保に向けた取組を推進する。また、地域経済活性化のために、地域産業の振興、新産業の創出などにより、まちのにぎわいづくりに取り組む。

平成26年度重点目標	目標の概要	達成基準	達成度
1 人と農地の問題解決に向けた取組	「人・農地プラン」作成による地域の農地集積、担い手の確保、耕作放棄地解消を図る。	農会長会や個別相談の機会を通じ、年度内に計3地区の実践地区を新たに掘り起こす。	達成基準を上回る
2 ため池等の総合的な防災・減災対策	危険ため池等の耐震化に向けた防災・減災対策を計画的に進める。	業務の早期発注に心がけ、ため池の調査設計、年度工事、耐震調査を年度末までに完了する。	達成基準どおり
3 地域経済の活性化	市西部地域の国道交差部周辺の活性化に向け、まちのにぎわいづくりの取組を進める。	関係者・関係機関との協議・調整を行い、年度内に基本計画に基づく実施に向けた方針決定を行う。	達成基準どおり
4 山田錦生産体制の強化と日本酒の消費拡大	山田錦の需要量に応えるための推進組織の連携と日本酒消費拡大につながる取組を行う。	酒造メーカーの山田錦生産の期待に応えるとともに、年度内に効果的なイベントや新企画により日本酒での乾杯を促進する。	達成基準をやや下回る